

平成26年11月6日

平成26年（2014年）12月期
第3四半期決算短信 補足資料

今日を愛する。

LION

ライオン株式会社

1. 2014年第3四半期業績ハイライト

【連結業績】

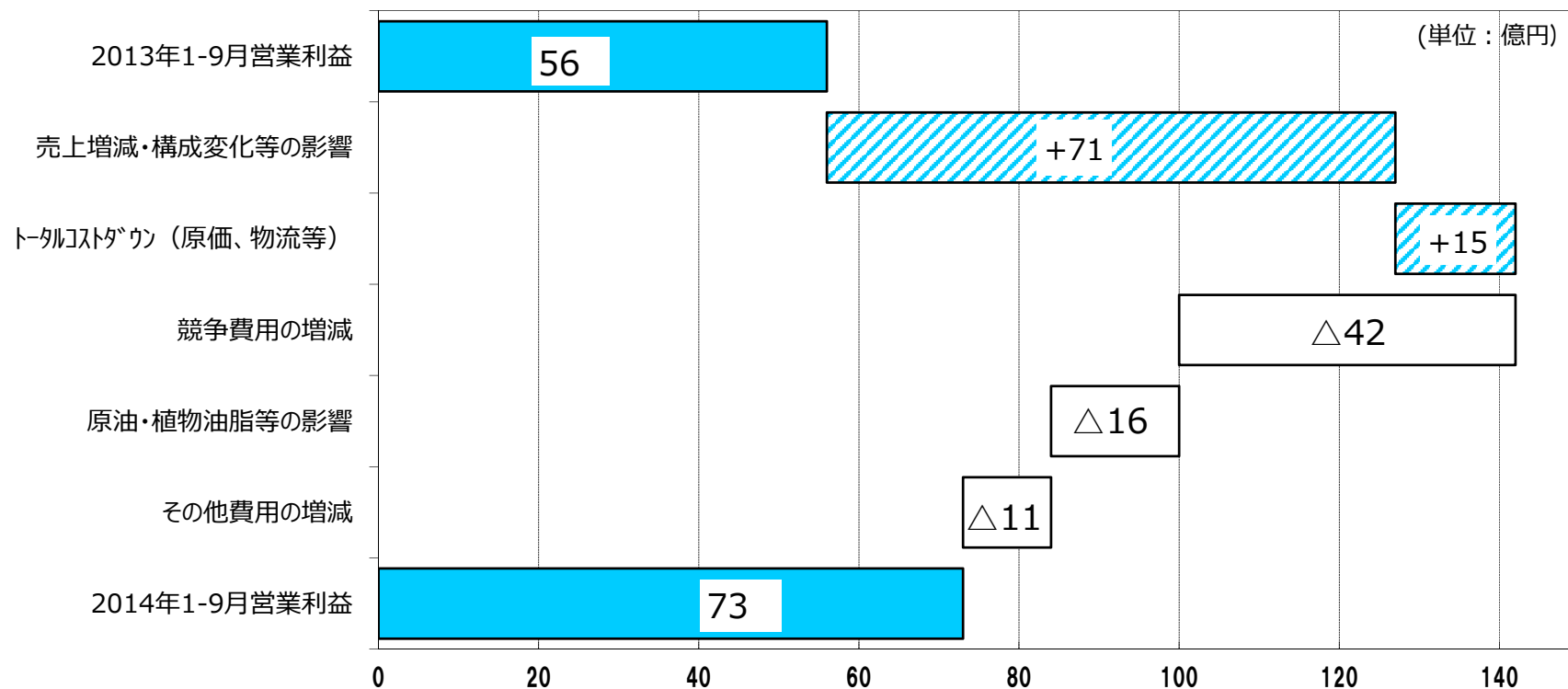
(単位：億円)

	2014年 1-9月	2013年 1-9月	前年同期増減	
			額	率(%)
売上高	2,653.0	2,522.2	130.8	5.2
営業利益 対売上比(%)	73.4 2.8	56.4 2.2	17.0 -	30.1 -
経常利益 対売上比(%)	82.0 3.1	67.1 2.7	14.8 -	22.1 -
四半期純利益 対売上比(%)	48.9 1.8	33.7 1.3	15.1 -	45.0 -
1株当たり四半 期純利益(円)	18.25	12.58	5.67	45.1

【連結業績の概況】

- 1) 売上高 2,653.0 億円（前年同期比 +130.8 億円、+5.2%）
国内は、「クリニカ」や「バファリン」などの新製品が好調に推移するとともに、既存商品も高付加価値品を中心に順調に伸張し、前年同期を上回りました。海外は、中国が好調に推移したことに加え、タイが回復し、前年同期を上回りました。
- 2) 営業利益 73.4 億円（前年同期比 +17.0 億円、+30.1%）
売上の増加に伴う粗利増に加え、セグメント構成や一般消費財事業内の分野構成の変化、宣伝費の効率化、産業用品事業における収益性改善に取り組み、前年同期と比べ大幅に改善しました。
- 3) 経常利益 82.0 億円（前年同期比 +14.8 億円、+22.1%）
営業利益の改善により、前年同期と比べ大幅に改善しました。
- 4) 四半期純利益 48.9 億円（前年同期比 +15.1 億円、+45.0%）
営業利益の改善により、前年同期と比べ大幅に改善しました。

【営業利益増減要因】



売上高の増加に加え、セグメント構成の変化により、営業利益が大幅に改善しました。

◇売上増・構成変化等の影響：

新製品が好調に推移した国内売上高の増加に加え、セグメント構成や一般用消費財事業内の分野別構成の変化により、粗利益額は大幅に増加しました。

◇競争費用の増加：

宣伝費は、国内で効率化を図ったものの、売上増や店頭における競争激化に伴い全体の競争費用は増加しました。

4. 2014年第3四半期業績ハイライト

【セグメント別】

(単位：億円)

	売上高				セグメント利益 (営業利益)			
	2014年 1-9月	2013年 1-9月	増減		2014年 1-9月	2013年 1-9月	増減	
			額	率(%)			額	率(%)
一般用消費財	1,982.5	1,883.0	99.5	5.3	44.7	31.9	12.8	40.1
産業用品	439.3	373.6	65.7	17.6	15.2	6.1	9.1	148.9
海外	625.9	569.0	56.8	10.0	8.3	11.8	△3.5	△29.8
その他	209.4	207.2	2.1	1.1	3.7	5.9	△2.2	△37.6
小計	3,257.3	3,033.0	224.3	7.4	72.0	55.9	16.1	29.0
調整額	△604.2	△510.8	△93.4	—	1.3	0.5	0.8	156.3
連結計	2,653.0	2,522.2	130.8	5.2	73.4	56.4	17.0	30.1

- ◇一般用消費財事業は、改良した「クリニカ」シリーズや「バファリンプレミアム」「Ban汗ブロックロールオン」等の新製品が好調に推移するとともに、「ソフランアロマナチュラル」や「キレイキレイ泡ハンドソープ」等の既存品が順調に伸張し、売上は前年同期を上回りました。セグメント利益は、売上増に加えて宣伝費の効率化に取組み前年同期に比べて改善しました。
- ◇産業用品事業は、業務用洗浄剤やカーボン、地盤改良剤等が好調に推移して売上が増加するとともに、収益性改善に取り組み、前年同期に比べて利益率が改善しました。
- ◇海外事業は、中国の売上伸張に加え、タイの売上が回復し、前年同期比10.0%の増収(為替変動の影響を除いた実質売上高は同5.6%増)。セグメント利益は、中国やフィリピンにおける宣伝を中心とした先行投資により前年同期を下回りました。
- ◇その他は、工事原価の上昇によりセグメント利益は前年同期を下回りました。

5. 2014年第3四半期業績ハイライト

【セグメント別売上高】

(単位：億円)

	売上高			
	2014年 1-9月	2013年 1-9月	増減	
			額	率 (%)
一般消費財	1,982.5	1,883.0	99.5	5.3
	1,794.1	1,717.4	76.6	4.5
産業用品	439.3	373.6	65.7	17.6
	232.6	227.1	5.5	2.4
海外	625.9	569.0	56.8	10.0
	593.8	539.5	54.3	10.1
その他	209.4	207.2	2.1	1.1
	32.3	38.0	△5.6	△14.9
売上高計	3,257.3	3,033.0	224.3	7.4
外部売上高計	2,653.0	2,522.2	130.8	5.2

◇上段：売上高、下段：外部売上高

なお、売上高には、セグメント内およびセグメント間の内部売上高を含んでいます。

6. 2014年の連結業績予想

通期の連結業績予想については変更しておりません。

(単位：億円)

	2014年	2013年	前年増減	
			額	率(%)
売上高	3,600.0	3,520.0	79.9	2.3
営業利益	120.0	108.1	11.8	10.9
対売上比(%)	3.3	3.1	—	—
経常利益	130.0	123.0	6.9	5.7
対売上比(%)	3.6	3.5	—	—
当期純利益	70.0	60.9	9.0	14.8
対売上比(%)	1.9	1.7	—	—

〈参考資料〉

家庭品・OTC医薬品市場、年間推移と2014年第3四半期推移

市場環境（家庭品）

当社参入主要40市場計 前年同期比（%）

	2009年 年計	2010年 年計	2011年 年計	2012年 年計	2013年 年計	2014年 1-9月
販売金額	102	102	101	101	102	102
販売個数	103	103	101	102	102	101
平均単価	99	99	99	99	100	102

(株)インテージ S R I データ（2010年以前は、当社参入主要44市場
2011～2012年は、当社参入主要42市場）

市場環境（OTC医薬品）

当社参入主要8市場計 前年同期比（%）

	2009年 年計	2010年 年計	2011年 年計	2012年 年計	2013年 年計	2014年 1-9月
販売金額	101	96	98	98	99	100
販売個数	101	98	98	99	99	98
平均単価	100	98	100	99	100	102

(株)インテージ SDI データ

〈参考資料〉

【第3四半期 連結会計期間 業績】

(単位：億円)

	2014年 7-9月	2013年 7-9月	前年増減	
			額	率 (%)
売上高	886.7	861.8	24.9	2.9
営業利益	33.8	27.7	6.1	22.2
経常利益	36.9	28.0	8.8	31.6
四半期純利益	24.2	12.7	11.5	90.5

〈参考資料〉

【第3四半期 連結会計期間 セグメント別業績】

(単位：億円)

	売上高				セグメント利益 (営業利益)			
	2014年 7-9月	2013年 7-9月	増減		2014年 7-9月	2013年 7-9月	増減	
			額	率(%)			額	率(%)
一般用消費財	652.0	640.2	11.7	1.8	22.0	18.7	3.3	17.7
産業用品	150.8	133.0	17.8	13.4	4.9	3.5	1.4	39.5
海外	222.6	191.6	30.9	16.2	4.4	3.5	0.9	27.5
その他	75.7	78.2	△2.4	△3.2	1.5	2.6	△1.1	△43.3
小計	1,101.3	1,043.2	58.0	5.6	33.0	28.4	4.5	15.9
調整額	△214.6	△181.4	△33.1	-	0.8	△0.7	1.6	-
連結計	886.7	861.8	24.9	2.9	33.8	27.7	6.1	22.2

今日を愛する。 LION

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報にもとづき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることを御承知おき下さい。

※金額は表示単位未満切捨てで表示しております。